


わたしたちが運ぶのは未来です

 運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局

清水港工事事務所

〒424 静岡県清水市日の出町7番2号

TEL 清水<0543>52-4146代



迎春

年頭にあたって

所長 中村 豊



あけましておめでとうござ
います。

清水港工事事務所は今年七
〇周年を迎えます。大正十年
から清水港第二期修築工事及
び震災復旧工事に国の直轄工
事事務所として携って以来、
清水港の主要施設の整備に加
え、現在では御前崎港、下田
港の整備、静岡県下のウォー
ターフロント相談室としての
機能も果しております。秋に
は記念事業も計画をしており
ます。

さて、今年新しい港湾及
び海岸の五カ年計画からはじ
まります。この五カ年計画策
定の基本となったのが、運輸
省長期港湾整備政策「21世紀
への港湾」のフォーアッ
プである「豊かなウォーターフ

ロントをめざして」です。

これからの港湾整備は、国
際社会に通用する高度な物流
施設や地域の発展のための生
産施設が重要であることは言
を待たないところですが、
「美しさ、使いやすさ、親し
み」などが感ずることのでき
るウォーターフロント作りが
必要となります。これには、
地方公共団体や国の行政機関
の協力は無論、市民や民間企
業の主体的なとりくみも必要
となります。

私共のウォーターフロント
相談室は、各界各層の御意見
をお待ちしております。

本年も各位の御健勝を祈念
するとともに、清水港工事事
務所に対する益々の御支援御
鞭撻をお願いし、年頭のごあ
いさつとさせていただきます。



新五箇年計画の策定に向けて 港湾整備促進中央大会開く！

昨年十一月六日、日本港湾協会など港湾関係四団体の主催による港湾整備促進大会が東京で開催されました。

この大会は、例年八月の予算概算要求時期から地方のブロック毎に開催されてきた港湾整備促進運動で頑張ってきた結果、促進中央大会として実ったものです。

大会には、全国から港湾管理者である県や、港湾を持つ市町村長、関係団体など併せて千二百名余りが参加したほか、衆参両院の国会議員四十



▲あいさつする宮城島清水市長

イメージアップ

について

昨今建設業では、3Kとか6K(危険、汚い、きつい、給料が安い、休日がない、恰好が悪い)と言われ社会的にイメージダウンしています。当事務所では、現場環境の改善対策のモデルケースとして江尻岸壁の工事において次の事を実施しています。

△地域社会に対するイメージアップとして

作業現場の囲いを従来のものでなく花柄のバリケードとしその間にフラワーポットを設置して季節の花、葉ボタンとカノースポールを植えています。



▲イメージアップされた清水港江尻岸壁の作業現場

△現場で働く人に対するイメージアップとして
工事区域内の美化の為にていねいに掃除をしてもらっています。

これらの反響については、近いうちにアンケートを行い次回からの工事に反映したいと思います。

(第二工務課・山本工務係長)

職場紹介③

〈工務課〉

工務課は現在、課長1名、係長4名、係員6名、パート1名の12名で清水港工事事務所の中核となつて仕事を進めています。我が事務所は、特定重要港湾(清水港)、重要港湾(御前崎港)、避難港(下田港)と遠州・駿河・相模の海の三港を抱え、仕事も他の事務所の倍

の仕事量となつており、家庭を捨て、家族を捨て、日夜仕事に勤しんでいます。(ちよつと大げさ)

係は、第一工務係、第二工務係、工事専門官、第二工務係の4係に分かれ、第一工務係は、①予算・事業の実施②営繕・宿舎③対外調整等の業務を担当しています。第二工務係は、①御前崎港の工事発注②監督測量船の修理③気象・海象記録の整理等の業務。

工事専門官は、①下田港工事

の発注②電算・積算に関係する業務。第二工務係は、①清水港の工事発注②ケーソン製作場の修理③船舶機械関係の諸手続に係る業務を担当しています。

工務課は、係長も全員30代の働き盛り、係員も若者と多少の年寄りが集まったコミカルな課ですが、大草工務課長の統率の元に、清水港工事事務所の発展のために日夜努力していますので、みなさん、

工務課を今年もよろしく御願



▲工務課のみなさん

い致します！

1月16日付け 五建足立技術次長 が三建へ異動

第五港湾建設局足立技術次長は、一月十六日付けで第三港湾建設局技術次長(神戸)へ御栄転されました。一月十七日清水港工事事務所へごあいさつに来られました。職員へのあいさつの中で「就任期間中、下田港外防波堤の第一号ケーソン据付や各種プロジェクトなどに加え、私的には昨年夏職員と富士山登山をしたことがよい思い出となった。伊勢湾台風対策などで発揮した技術力を今後の事業展開に生かすよう技術を伝承してほしい」と語った。



平成二年秋の叙勲 ▶あいさつする足立技術次長

外岡信 元職員受賞

十二月十四日外岡信(65才)さんは、永年に亘り清水港の港湾工事一筋に尽力されたことにより勲六等瑞宝章を受賞し、同日本省において賞状及び勲章の伝達式が行われ皇居において拝謁がありました。

▶受賞の喜びを報告に来所した外岡信さん(中央)



氏は、推せんを受けたお礼と受賞の喜びを報告するため十八日来所されました。伝達式に奥さんを同伴できなかったのは、私も含め二人だけであった。又天皇陛下に拝謁したときは直立不動になったなどと受賞の模様を話されるとともに、最も想い出深い仕事は、外港防波堤の着工時と直営工事最盛期の多忙な時期を話された。所長からは人生の大半を清水港建設にささげられたことに対する感謝と今後の活躍をお祈りするむねの言葉があり、勲章を胸に所長・次長を交え記念撮影するなど和やかに懇談がなされた。

お知らせ

来る2月14日(木) 港湾物流シンポジウム開催

清水港は、国際貿易港として栄えてきたが、諸情勢が変化し大きな転換点を迎えている。即ち第三東名・中部横断自動車道が具体化しようとしていること、輸入や船舶大型化に対応した大型コンテナ基地が各地で整備されていること、狭隘な水際線に面した用地に多様な要請がでてきていることなどである。

今回は、清水における港湾物流基地の今後の方向づけについて議論を深めることを目的に次

の要領で開催します。

ふるってご参加下さい。

対象、清水市に關係する各層
日時、平成3年2月14日(木)
13:30~16:30

場所、マリニビル大会議室

主催、運輸省清水港工事事務所
後援、静岡県清水港管理局
協賛、清水市議会港灣議員連

盟・清水港振興会・清水商工会議所・清水港利用促進協会・清水港灣連絡協議会

講演、川崎芳一国際貨物流通協会専務理事

テーマ、「国際コンテナ輸送とターミナル施設の動向」

この後パネルディスカッションを行います。

工場だより

御前崎工場

主任 加藤道康

点から線へ

当御前崎工場では、昭和53年度からの防波堤(東)の築造工事と並行して昭和63年度より防波堤(西)の築造工事に着手しました。昭和63年度はケーソン2函で延長36m、平成元年度はケーソン3函で延長54mの計90mを2カ年で施工してきました。90mという陸上では長いようですが、海上では海に浮かぶ離れ小島のように、高台から望む防波堤(西)は

点でしかありませんでした。しかし、港内の静穏度をより高める為、防波堤(西)の建設促進に対する地元要望が強く、平成2年度はケーソン8函で延長144mを施工することとなり、平成2年8月より鋭意施工してきましたが、11月、12月にケーソン各4函の据付を無事故の内に無事完了し、防波堤(西)の全施工延長も234mとなり、一年前に点で見えなかつた防波堤(西)も線になりました。



▲建設が進む御前崎港防波堤(西)

各種新五カ年計画及び平成3年度政府予算案の概要

— 工務課長 大草光男 —

I. 各種新五カ年計画

各種五カ年計画を策定することが認められた。

- (1)、第8次港湾整備五カ年計画
5兆7000億円(対前計画比30%増)
- (2)、第5次海岸事業五カ年計画
1兆3000億円(対前計画比30%増)
- (3)、第6次空港整備五カ年計画
3兆1900億円(対前計画比66%増)

II. 平成3年度予算案

- (1)、港湾整備事業(国費、一般会計ベース)326,601百万円、(対前年度比1.04)生活関連重点化枠8,802百万円、(内書)
- (2)、新規事項

今後の清水港の整備に關係すると思われる新規に認められた事項

輸入インフラ整備の促進

近年、製品輸入を中心とする外貿コンテナ貨物の増加及びコンテナ船の大型化が著しく、大型コンテナターミナルの整備が喫緊の課題となっていることに対応して、次のような措置も講ずることが認められた。

- イ、外貿コンテナターミナルの整備におけるコンテナヤードの拡大

輸入コンテナを中心にターミナルにおけるコンテナ取扱量が増大する中で、コンテナヤードの不足が深刻な問題となっている。このため、埠頭整備資金貸付金事業として整備するヤードの奥行きを350mから500mに拡大する。

- ロ、総合輸入ターミナル施設の整備

輸入品の急増に伴い、外貿ターミナルにおいては荷さばき、保管、流通加工の機能に加え、輸入品の展示、情報提供等の機能を備えることが必要とされている。このため、民活法特定施設整備事業における現行の特定施設として総合輸入ターミナル施設を整備する。

III. 平成2年度補正予算(ゼロ国債)

- (1)、御前崎港
防波堤(西)のケーソン2函分の基礎工からケーソン据付、上部工まで実施
- (2)、下田港

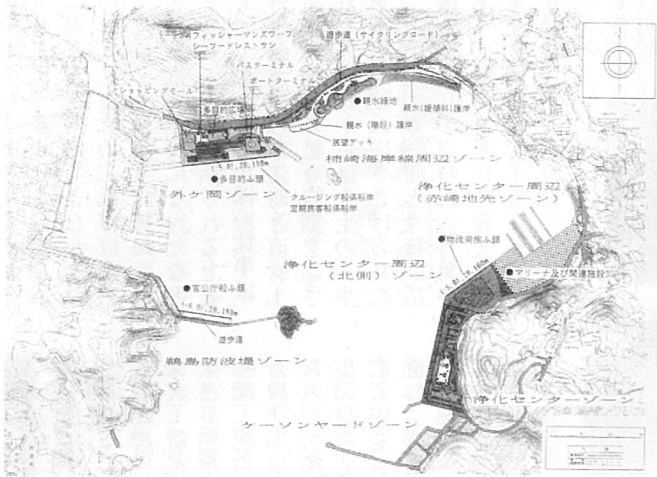
防波堤E区本体工(1函)、F区上部工(4函分)、消波工を実施
予算は2港で3億4千万円であり2月上旬より順次発注する予定である。

下田港湾整備構想 基本計画(MTP)の 概要(その二)

— 次長・栗田岩男 —

下田港港湾整備構想基本計画(MTP)の概要(その二)
 (1)鶴島防波堤ゾーンは、定期客船施設の再配置をしながら港湾機能の輻輳を解消させるため、新たに防波堤北側に官公庁船の横付け係留が可能な埠頭を配置する。(2)外ヶ岡ゾ

▶重点整備地区全体施設配置計画(案)



ーンは、現在の外ヶ岡岸壁の物流荷捌施設の一部を再配置した上で、低利用空間の有効利用を図りながら、旅客船のための係留岸の転換、その後にはポートターミナル、水産物取扱施設のフィッシュリーマンスワーフ、シーフードレストラン、ショッピングモール(市場)等を配置する。また、多目的広場は交流機能としての効果が発揮できるようにポートターミナル、フィッシュリーマンスワーフのどちらからも容易に利用できるようにして、

市民が日常的に交流でき、観光入込客が快適に利用できるアミューズメント施設として、海陸の人的交通拠点として機能するシンボルゾーンとしている。(3)浄化センター周辺(北側)ゾーンは、赤崎地先ではプレジャーボートの係留、保管施設や修理施設等の用地及び浄化センター北側周辺では物流荷捌施設のため埋立、また、プレジャーボートの係留、保管施設と物流荷捌施設へのアクセス道路は、県道と浄化センター背後と両方向から設けることとしている。(4)柿崎海岸線周辺ゾーンは、国道一三五号から沖合に向い約六〇メートル程の埋立てを行い、歩行可能距離を考慮しつつ、水に親しめるよう展望デッキ、緩傾斜階段護岸等を導入した親水緑地を配置し、市民が日常かつ快適に利用できる親水性の高い憩いの場の創出を図るものとしている。

OB野球大会

第12回一建・五建対抗OB野球大会が去る12月20日三保東海大学松前球場で開催され成功裡に終わった。

前々日の台風とはうって変わった好天気、恵まれ麗峰富士を背に、前夜の懇親会の疲れも見せず、老骨に鞭打つての好プレイの応酬が、結果は昨年二連敗の雪辱は果せなかつたものの、一勝一分と、辛くも体面を保ちホッとしたところ。(通算成績一建の十勝九敗三分)又、平均年令52才ということで怪我を心配したが、そこは往年の昔取つた何とやらで無事終ったことは、

主権者としても安堵の胸をなでおろしたわけである。

何はともあれ本大会の開催に賛同、ご協力を賜つた先輩諸兄、又、清水港の皆様方にごの紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。
 (実行委員長 山田秀夫)

清水市議会

港湾議員連盟が設立

平成二年十二月二十日に、清水市議会港湾議員連盟が設立され、会長に大内胖自氏(市議会議長)、副会長に丸山広見氏(市議会副議長)、八木正志氏(市議)をはじめとする理事14名、会員13名がそれぞれ就任しました。

清水港の動き

28日	用納め	1月4日	御用始め
21日	清水港設計会議(名古屋)	1月9日	清水港湾機関長会議(清水)
20日	盟設立	2月24日	西伊豆MTP分科会(宇久須)
17日	田子の浦港船舶航行安全対策調査委員会(日本海難防止協会)	2月23日	1/四実施会議(名古屋)
21日	清水港設計会議(名古屋)	2月18日	港湾物流シンポジウム
28日	用納め	2月14日	平成二年度第二回通常検査



▲東海大学松前球場で開催されたOB野球大会